

しているセンターだが、近年利用対象児童が増加傾向にあり、利用者の利便性を考慮して職員体制を強化するため、現在の4名から7名体制とした。

《農林水産費》

【吉原委員】幌延町地図情報更新事業の内容は。

【足達事務局長】現在使用している地図情報システムの更新と修正事業で、町内全域の航空写真(5千分の1)を撮影。現在の地形や地上物の変化に対応して行く。3ヶ年で完成予定。

《商工費》

【高橋委員】トナカイ観光牧場の単純な草刈り、雑草処理などは外注で処理出来ないか。

【伊山産業G主査】

夏場の雑草処理には確かに苦勞している。施設内の環境整備も大切なので、出来る範囲で検討し対応して行きたい。

《土木費》

【西澤委員】町道新設改良工事計画の進捗状況と、「ふれあいの館」解体跡地の整備予定は。

【高田経済課長】国の補助金や

過疎債などを活用しながらの事業なので、現時点では当初の予定より3年程度遅れている。

【羽田管理G主幹】

「ふるさとの森森林公園」改修事業で解体される「ふれあいの館」の跡地整備は、今後活用計画を立てて、来年度の予算に反映して行きたい。



《消防費》

【植村委員】防災関係での救援備品購入はあるのか。

【山本総務G主幹】消耗品費でLEDヘッドライトを購入予定。

定。その他、問寒別地区に発電機・非常食・毛布・保存用飲料水などを備えたい。

現在、これらの備蓄計画を作成中。

《総括》

【西澤委員】近年になり、かなり大きな余剰資金を備荒資金組合などに積立運用出来るようになった。

【宮本町長】今後は段々と進む高齢化に対応する、福祉政策の強化が必要ではないか。

【宮本町長】私も就任以来、状況に応じてござくら荘の増築などに取り組んで来た。

しかし、これら福祉事業を充実させる事による、介護保険料の上昇が問題。

ヘルパー事業などの増員が必要であれば強化して行く。

【野々村委員】独居老人見守り対策や高齢者健康診断システムなどの告知端末機の活用を考えては。

【宮本町長】方法論としては色々考えられると思うが、診療所の体制など現状を考えると難しいと思う。しかし今後、幅広く検討していく事も必要と思う。

特別会計

町立診療所特別会計

【鷺見委員】平成26年度の不採算病院補助金予定額は。

【飯田会計課長】地方交付税で算入される金額は2千3百99万7千円の予定。

《総括》

【植村委員】現在、看護師を始めとする診療所スタッフは規定に達しているのか。

【宮古事務長】診療所になり、看護師の配置基準は無いが、今は充足されている。ただ、清掃員、管理栄養士、厨房員が欠員となっているので、募集を行っている。

【西澤委員】今後、訪問看護事業などを検討出来ないのか。

【宮古事務長】今は医師1名体制で問寒別診療所、北星園、ござくら荘と週に3か所の往診をしている。これ以上となるとかなり難しい。

【鷺見委員】北海道の中でも高いと言われる保険料と、介護サービスの現状をどう思うか。

【宮本町長】ござくら荘の定員

をもう10名程度増やしたいと思うが、保険料に跳ね返るので、苦慮している。町民の意向を聞きながら、基本的には「福祉会」の考え方を尊重し、検討して行きたい。

【植村委員】介護施設入居規定改正では介護度3以上の者が対象となり、認定度数の低い人達を取り残される心配があるが、どう考えるか。

【鈴木町民課長】地方の施設に關しては地域事情も考慮して、多少なりとも規定緩和されるものと期待している。

なお、当然在宅介護サービスを拡充していくことにならるが、現状以上の利用者ニーズに比べると、スタッフの確保がこの地域では難しいのが実情。

しかし、今後これらの事を踏まえて検討、拡大できるように努力していきたい。

【吉原委員】介護福祉の先進地へ職員を視察研修させるべきでは。

【宮本町長】必要に応じて介護施設等に職員を派遣し、視察研修を出来ればさせたいと思う。